

全医共事務局合同会議 議事録

日 時：令和元年 10 月 15 日（火）14:00～16:00

場所：一般社団法人 江戸川区医師会医療検査センター 会議室

参加者：丸岡会長、宮野副会長(事業部)、末松副会長(組織部)、
大野、神山、今入、畠山、牧子、佐瀬、北堀、長竹、篠塚

欠席者：真坂、

議題

1.日医松本理事への表敬訪問の報告

10月15日午前11時30分より日医会館会議室において、日医地域医療担当の松本理事に面会し、本年7月19日（金）～20日（土）に開催した年次大会の報告と、作成した記録集（20冊）を贈呈した。

松本理事との懇談の中で、日医からの働きかけにより各都道府県医師会からの助成金も増加していることを報告し、そのお礼も述べた。（丸岡）

2.令和元年度全医共年次大会の反省会

大会運営について（大会内容、事務分担、経費全般、大会収支など）

前回事務局会議（9月19日）での協議事項を報告。

事務局からの提案事項の確認。（議事録はHPで閲覧確認を）

3.全医共の仕事分担について

○施設情報（名簿）についての（組織部と事務局の連携）の取り決め

施設情報は、HP上にあるものが正式（最新）なものとする。

施設情報は事務局が管理する。（篠塚）

不明な施設に関しては、事務局が地区理事（組織部）へ調査を依頼する。

その後事務局へ報告しHP上の施設情報を速やかに更新する。

検討事項として、サーバー上に共有ファイルを置き、更新処理が行える様に出来ないか確認する（神山・丸岡）。

○今後もアウトソーシングを活用していく。

4.令和2年年次総会運営について

○大会運営について

9月に開催地区と丸岡会長が打ち合わせを行った。（報告）

開催地区事業部が主体となり事務局(サポート)と連携をとりながら大会運営を行って

いく。

事業部副会長と担当地区理事は全体を把握し会長と連携を取る。

雛形（プログラム・会計）を事務局が用意し、担当地区理事へ提示する。

本年同様、DVD作成は行わず、記録集の発行とする。

総合司会の雛形を作成して事業部副会長へ送信する。（末松→牧子→宮野）

○2月ごろ開催地区で全体会をという提案は費用等の問題もあるため行わない。

○全体会（理事会）は今まで同様に行う。別途全体会が必要な場合はその都度開催する。

○申し込み手続きについて

ホームページでの申し込みは完了後に、登録されたメールアドレスへ手続き完了の返信を行うように更新をお願いする。

FAXでの申し込みも併用。

○開催地区でテーマ、プログラム、経費の案を12月までに会長に提出。

○厚労省および日本医師会への講演依頼は、会長と事務局で行う。

5.その他

監事である榛原医師会臨床検査センター 豊田さんが退任のため、後任の人選を行う。
（岡崎市医師会公衆衛生センター 山田珠樹先生に打診する。）

なお、今会議中に会則を変更すべき箇所の洗い出しも行った。

●会則 第13条3 理事会は連絡協議会の前日に行う。

→年次大会開催までに

●処務規程 第11条(3) b) 研修会 DVD作成及び発行。

→記録集に

●その他 HPの会則・処務規程の再度確認は継続して行う。

次回事務局会議の開催日 調整中（2019年12月予定）